

古塔彫刻ノ一部

第二十三圖解説

鹿野苑ノ大圓塔ハ、高約百二十尺、周圍約三百尺、赤砂岩ヲ以テ築造シタルモノニシテ、地上ヨリ約四十尺ノ間ハ、各層ニ石佛ヲ嵌入シ、一帯ニ巧緻ナル彫刻ヲ施セリ、其上部ハ、外面既ニ剝落シテ瓦石ヲ露出シ、頂上ニハ雜艸茂生ス、此塔ハ、西域記ニ精舍西南ノ石率都波ハ、無憂王ノ建ツル所、基傾陷スト雖モ、尙ホ百尺ニ餘レリト、又云、伽藍西南二三里率塔波アリ、高三百餘尺、基趾廣峙、瑩飾奇珍ナリ、既ニ層龕無ク、便チ覆鉢ヲ置クト、其孰レナルヤ明ナラザレドモ、若シ前者トスレバ、初轉法輪ノ聖蹟ハ、此塔前ナルベシ、